



学校だより

まきのき

H30. 10. 23 No. 7

発行：長与町立長与小学校

校長 松尾 克久

編集：副校長 田川 定司

大切にすること

校長 松尾克久

長与小学校には、たくさんの来校者がいらっしやいます。

その方々が、常々おっしゃるのが「黙々掃除」と「整った環境」です。

掃除始まりの放送がかかると893名の子供たちの声はやみ、物音だけが響いてきます。

教室掲示やぞうきんも一枚一枚、きれいに並んでいます。整った教育環境は、授業における落ち着きと整った思考を促していきます。また、物を大切にすること心が育ち、それは自分や人の気持ちを大切にすることにつながっていきます。

メジャー通算安打 3000 本の大記録を打ち立てたイチロー選手は、

「一度バットを投げた時、非常に嫌な気持ちになりました。

自然を大切にしてくださった人の気持ちを考えて、僕はバットを投げることも叩きつけることもしません。プロとして道具を大事に扱うのは当然のことです。」

と、語っています。

「こころ」はだれにも見えないけれど

「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど

「思いやり」はだれにでも見える

詩人：宮澤章二（「歌「ジングルベル」日本語作詞者）

2年生が国語科の作文学習で書いた説明書を大事そうに両手で持ち、友達同士で見せ合っていました。6年生が、朝掃除の後、掃除道具をていねいに並べて片付けていました。

情報があふれ、慌ただしい世の中だからこそ、育てていきたい大切な心です。

10月の行事予定

25日（木）～26日（金）修学旅行（6年生）

26日（金）給食試食会（1年生）

27日（土）長与町PTAソフトバレー大会

29日（月）ボランティアによる「お話し会」

30日（火）読書集会



長与町小学校連合体育大会

10月12日、町内5校の小学校から5・6年生が一堂に会し、長与町小学校連合体育大会が開催されました。1か月に及ぶ練習の成果がしっかりと発揮できた子、緊張して普段の力が発揮できなかった子など様々ですが、小体連を通して子供たちの心身の成長が見られました。子供の心の成長が感じられた小体連後の6年生の子供の感想を紹介します。また、3位までに入賞した児童は下記のとおりです。

【第1位】

- 結果は嬉しかったけど、悔しかったです。
(略)仲間との協力の大切さや努力した分だけ伸びることが分かり、いい経験になりました。
- とても悔しく思いました。でも「悔しい」と思えるのは今まで努力してきたからだし、みんなで心を一つにし、全力を出し切れたので良かったと思います。他校の人と比べるのではなく、自分と闘うことができたので良かったです。
- (自分の経験をもとに) 友達がどれだけ悔しいか知っていたので、その友達のために走ろうと決めました。その友達も含めて、一緒に頑張ったメンバーにありがとうという気持ちでいっぱいです。

5年球入れ：長与小学校Cチーム
5年男子400mリレー：長与小学校1組
6年女子100m走：瀧口愛琥
6年女子走り高跳び：濱華歩子

【第2位】

5年男子走り幅跳び：松本鉄平
5年男子100m走：梁瀬爽太
5年男子400mリレー：長与小学校4組
6年長縄：長与小学校Bチーム
6年男子走り高跳び：福地海斗
6年男子400mリレー：長与小学校3組
6年女子400mリレー：長与小学校4組

【第3位】

5年男子走り幅跳び：大島海斗
5年女子100m走：永江萌衣
6年男子100m走：篠原雄斗

長与町小学生読書のつどい

10月3日、町民文化ホールで、町内小学校5校の4年生が参加して、「長与町小学生読書のつどい」がありました。長与小学校からも4年生150名が参加しました。長与小学校の子供たちは、北原白秋の「おまつり」の群読と、太田大八さんが書いた「ながさきくんち」の発表を、会場いっぱいに通る声で、堂々と発表することができました。



4年生の声が文化ホールに響き渡りました！

ありがとうのつどい

10月5日、本校体育館で、登下校時にお世話になっている地域安全ボランティアの方々15名をお招きし、「ありがとうのつどい」を開催しました。ありがとうのつどいでは、3年生が中心となって会の企画運営を担当し、全校で作成した感謝のメダルや感謝状を渡すなど、地域安全ボランティアの皆さんに、感謝の気持ちを伝えることができました。



地域安全ボランティアの皆様、ありがとうございます！